

「少しでも寄り添えたら良いな
と思いました」

「自分自身に症状があるため不安がありましたが
温かい気持ちになれる映画でした」

「何度観ても、色んな優しさに
心をつかまれます」

四国初上映!

公式HP



Twitter
@team_sonoko



Instagram
@teamsonoko



Teamその子

解離性同一性障害（多重人格障害）を周囲に隠し日常生活を送る、その子。
その子を守るために内部の人格達がそれぞれバラバラにおこなった行動が、周囲との摩擦を生み、その子を追いつめてしまう。人格たちとの葛藤と理解、そして和解の物語。

出演：野々村すずか 野崎紗矢 イワザキ 小林瑠衣 水野日頼 永野和哉 越智亮介 中島幸子
こっぺさうるす 須藤心悠 蜂丸明日香 大野やすひろ 安良田愛斗 小川響 齊藤遼太郎 大権早耶佳 高橋良子
西木場あかね 西山さつき 水野結



撮影：大野やすひろ 衣裳制作：安良田愛斗 めいぐるみ制作・録音・記録：高橋良子 岩澤優希 小川響 齊藤遼太郎 鈴木ゆき 須藤心悠 大権早耶佳
主題歌『Re: 』作詞・作曲：夕風 歌：野々村すずか 協力：リトルs 中島幸子 土佐亜子 Yuko Dierkes 野崎浩二 カワセミチヒロ
監修：NPO法人レジリエンス 監督・脚本・編集：友塚結仁

※この物語は、解離性同一性障害をかかえる方たちや、その周囲の方たちの
経験を元に創作したフィクションです。特定の人物、団体等をモデルにした
ものではありません。

この映画はReadyFor『解離性同一性障害(多重人格)への理解が
深まる短編映画を作りたい』プロジェクトにご支援いただいた
方々の協力により制作されました。

～解離性同一性障害を理解し、できることを考える～

「Teamその子」上映会+トーク会 in 香川 開催
トーク：中島幸子 (レジリエンス：監修・出演)・友塚結仁 (監督)

2024

香川 1/8

9:30~11:30 (9時開場)
(月祝) 定員180名

会場：香川県社会福祉総合センター 7階 大会議室
〒760-0017 香川県高松市番町1-10-35

主催：特定非営利活動法人レジリエンス
共催：社会福祉法人香川県社会福祉協議会

運営協力：『「Teamその子」上映会+トーク会in香川』実行委員会

(香川大学PROS、特定非営利活動法人メロディー、重川つやこ、川村圭、北川裕美子、辰巳裕子、長尾貴志、平野美紀)

2024.01.08 香川 申込



お申込み

映画公式HPからも
お申込みいただけます

参加費：無料

お問い合わせ・お申込み先
teamsonoko@unique.works
(香川県社協 地域福祉課 TEL 087-861-0546)

映画公式HP

<https://teamsonoko.unique.works>

あらすじ

解離性同一性障害（多重人格障害）を周囲に隠し日常生活を送る、その子。
その子を守るために内部の人格達がそれぞれバラバラにおこなった行動が、周囲との摩擦を生み、その子を追いつめてしまう。人格たちとの葛藤と理解、そして和解の物語。



キャスト・スタッフインタビュー



野々村すずかさん
「その子」役

実際にこの病に向き合っている方がいらっしやり、その当事者の役を演じるということで、責任を感じました。失礼がないようにというのはもちろん、背景やお話を伺い、一つの歯車として役割を全うできるようにという気持ちでした。

その子は自分だけで作るものではなく、内部人格と一緒に作りあげていく作業でした。自分の中からだけでは絶対出てこないような表現や話し方を取り入れられるよう、他の人格を演じる皆の声や動きを見ながら取り組みました。皆と声をかけ合いながら進められたことも、とても心強かったです。その子としても、私自身も、周りのみんなの力をお借りして、完走することができた作品です。



野崎紗矢さん
「セクシー」役

私の知らない世界のことだったので、最初は緊張しました。その子と同じ体だけれど違う人格を演じるということで、見た目やお芝居がその子本人と離れすぎないように、丁寧に演技するように思います。

その子やほかの人格ができないようなことを、自分がやらなければという正義感をもって、嫌な事でも引き受けるというのは、共感するところがありました。シーンの中でも、そういう立場になったらそうするのもわかるし、実際にそうされる方もいらっしやると思います。そのシーンにも注目していただければと思います。

中島幸子さん
「カウンセラー」役・監修

子どもの頃に耐え難い、無力感を感じるような逆境を経験していると、意識が身体から離れる解離という手段を使って生き延びることがあります。解離する全ての人々が解離性同一性障害になるわけではありませんが、解離を何度も経験すると、つらい記憶や体験を受け持ってくれる人格やパーツが分かれていき、解離性同一性障害の症状を抱えることがあります。私自身、解離性同一性障害の症状があるので、複数の人格が1つの身体を使いながら生きることの複雑さや困難を経験しています。周囲の人も影響を受けるため、この障害についての理解が非常に大切だと感じます。

解離性同一性障害に限らず、少しでも理解しようとしてくださる方が増えれば増えるほど、当事者にとって助けになります。ひとりでも多くの方にこの映画を見ていただければと思っています。



公式HP



Twitter

@team_sonoko



Instagram

@teamsonoko



※この物語は、解離性同一性障害をかかえる方たちや、その周囲の方たちの経験を元に創作したフィクションです。特定の人物、団体等をモデルにしたものではありません。

この映画はReadyFor『解離性同一性障害(多重人格)への理解が深まる短編映画を作りたい』プロジェクトにご支援いただいた方々の協力により制作されました。